

JRIS

鉄道車両ーポリウレタン樹脂系塗り床材

JRIS J 0743 : 2010

(JARI)

平成 22 年 8 月 5 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(社団法人 日本鉄道車輛工業会 発行)

日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 眞 一	財団法人研友社
(委員)	北 村 不二夫	国土交通省 鉄道局
	宮 本 昌 幸	明星大学
	近 藤 圭一郎	千葉大学 大学院
	古 関 隆 章	東京大学 大学院
	岡 本 勲	財団法人鉄道総合技術研究所
	新 井 静 男	東日本旅客鉄道株式会社
	張 替 次 雄	東京地下鉄株式会社
	堀 江 富士雄	近畿車輛株式会社
	作 田 昌 弘	三菱電機株式会社
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
(顧問)	明 石 秀 二	社団法人日本鉄道車輛工業会
	井 口 雅 一	東京大学 名誉教授
(事務局)	溝 口 正 仁	社団法人日本鉄道車輛工業会
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岩 滝 雅 人	株式会社日立製作所
(委員)	佐 藤 公 一	川崎重工業株式会社
	白 井 務	日本車輛製造株式会社
	河 口 清	近畿車輛株式会社
	滝 田 晴 之	東急車輛製造株式会社
	尾 藤 千 秋	新潟トランス株式会社
	持 留 裕 之	三菱重工業株式会社
	島 田 富美朗	株式会社日立製作所
	石 橋 尚 之	株式会社東芝
	塩 見 省 吾	三菱電機株式会社
	尾 崎 覚	富士電機システムズ株式会社
	潤 賀 健 一	東洋電機製造株式会社
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	藤 原 達 雄	ナブテスコ株式会社
	新 井 衛	日本信号株式会社
(顧問)	鈴 木 静 男	株式会社京三製作所
	田 中 眞 一	財団法人研友社
(鉄車工委員)	手 塚 和 彦	株式会社テス
	明 石 秀 二	社団法人日本鉄道車輛工業会
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	宗 像 政 美	社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会 会長

掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>

発 行 者 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

1	適用範囲	1
2	引用規格	1
3	用語及び定義	1
4	構造	2
4.1	塗り床材の種類	2
4.2	塗り床材の構造	2
5	特性	4
6	塗り床材施工後の特性	4
7	材料	5
7.1	一般	5
7.2	プライマーの種類	5
8	試験方法	5
8.1	試験片の作成	5
8.2	硬化時間	6
8.3	密度	6
8.4	引張強度, 伸び率	6
8.5	へこみ量	6
8.6	残留へこみ性	6
8.7	加熱寸法変化率	6
8.8	加熱減量	6
8.9	汚染性	6
8.10	滑り性	6
8.11	耐摩耗性	6
8.12	耐シガレット性	6
8.13	下地との密着性	7
8.14	敷物との密着性	7
8.15	耐燃焼性	7
9	試験	7
9.1	形式試験	7
9.2	受渡試験	7
9.3	調査試験	7
10	表示	8
11	取扱い時の注意	8
	附属書 A (参考) 塗り床材の取扱い時の注意	9
	解説	12

まえがき

この規格は、旧日本国有鉄道（以下、旧国鉄という。）の規格（以下、**JRS** という。）の **JRS 17104-12B-15AR8TA**（車両用ポリウレタン系塗り床材）が 1987 年に旧国鉄の分割民営化によって、公的な効力がなくなったのに伴い、その技術的内容を継続して利用することができるように、最新の技術的内容をベースに見直しの後“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JRIS “J シリーズ” 制定の背景

日本国有鉄道が制定した鉄道に関わる規格（**JRS**）は、1987（昭和 62）年の国鉄の分割民営化時点で、公的な効力が終了し、以後、この規格を維持管理する体制がなくなった。しかし、鉄道車両の分野においては、この **JRS** の規定内容を該当する仕様書又は図面中に再掲する方法で活用する例が数多くある。

そこで、鉄道車両の分野で、今後も継続して利用する可能性の高い **JRS** の内容は、現在の技術レベルでの見直しを行った後に、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、“J シリーズ”として区分し、製品のグループ別に区切って番号を割り当てる方法を採用している。したがって、従来の **JRS** 番号との関連はない。

JRIS は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成している。
この規格の“J シリーズ”のほか、“D”、“E”、“R”、“W”シリーズがある。

鉄道車両ーポリウレタン樹脂系塗り床材

Rolling stock - Floor coatings - Polyurethane resin

1 適用範囲

この規格は、鉄道車両の床材上部に用いるポリウレタン樹脂系塗り床材について規定する。塗り床材の主な用途は、次の箇所とし、下地が金属面、既施工塗り床材又は高分子系床敷物を機械的に削除した面及び、既施工塗り床材・既施工床敷物面を対象にする。ただし、高分子系床敷物の例は、JRIS J 0745 による。

- a) 仕上げ材
- b) 下塗り材
- c) 床敷物の目地材及び端末防水材
- d) 戸袋内並びに出入口及び腰掛周囲の防水材

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1453:1973 建築材料及び建築構成部分の摩耗試験方法（研摩紙法）

JIS A 1454:2008 高分子系張り床材試験方法

JIS A 5705:2005 ビニル系床材

JIS E 4001 鉄道車両ー用語

JIS K 5633 エッチングプライマー

JIS K 6251:2004 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムー引張特性の求め方

JIS K 6854-1:1999 接着剤ーはく離接着強さ試験方法ー第1部：90度はく離

JIS K 6900 プラスチックー用語

JIS Z 7250 化学物質等安全データシート（MSDS）ー第1部：内容及び項目の順序

JRIS J 0745 鉄道車両ー床敷物

規格概要につき以下は省略する。